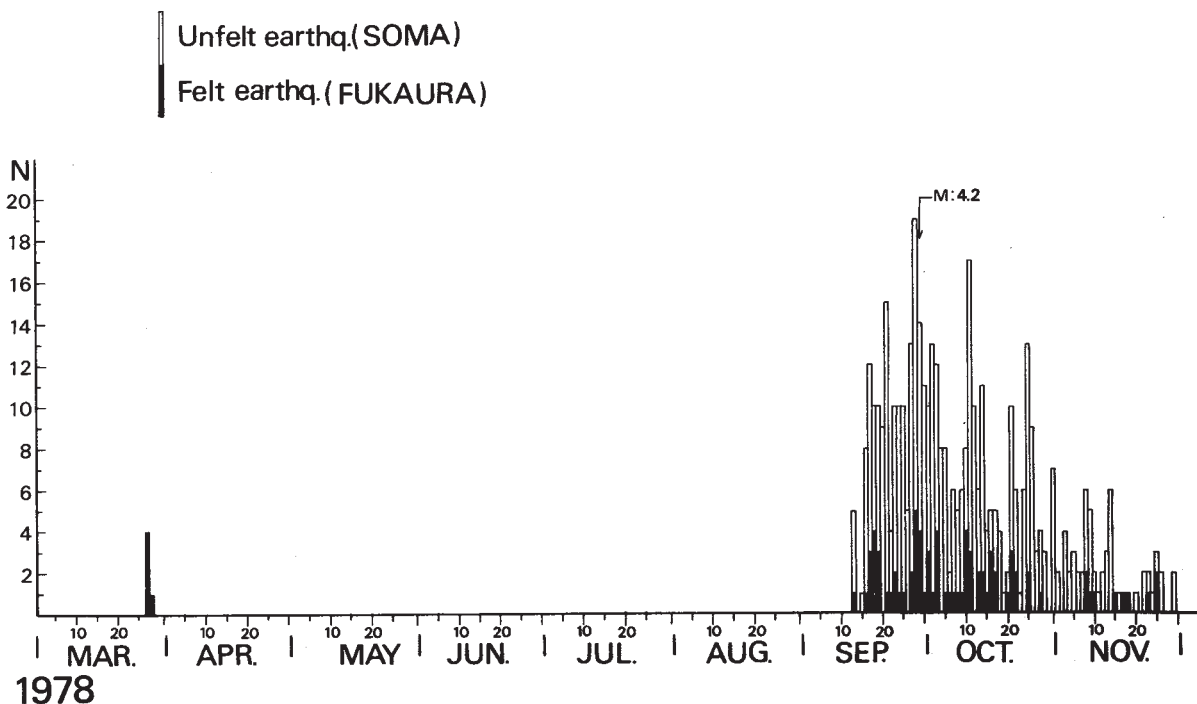


2 - 4 1978年の青森県深浦の地震群発について

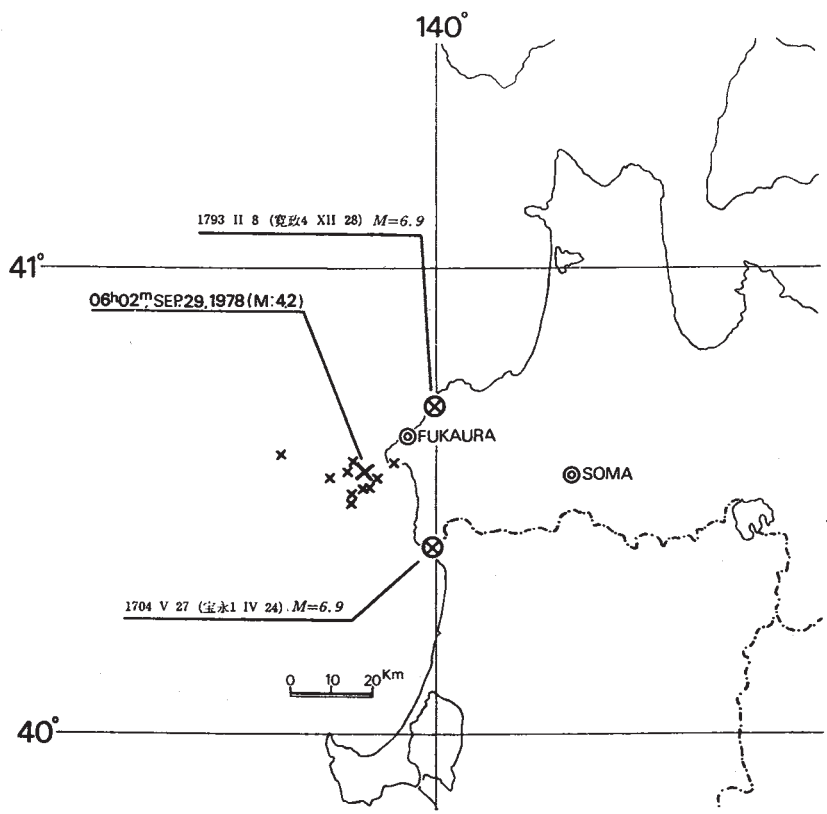
Earthquake Swarm near Fukaura, Aomori Prefecture in 1978

気象庁地震課 地震予知情報室
OIEP, Seismological Division, Japan Meteorological Agency

第1図は1978年に青森県深浦付近に発生した地震回数の変化である。この付近では深浦測候所の観測によると、平常時の有感地震回数は年間1ないし4回程度であった。しかし、本年3月27日から28日にかけて震度1の地震が5回観測された。震源は弘前大学の観測によると岩崎付近と推定された。その後一応平常状態に戻ったが、9月13日から図のように有感地震を伴う小または微小地震が群発し始めた。これらの地震の震央は、第2図のように岩崎-大間越間の海域である。今回の震央付近には1793年2月8日に鱒ヶ沢地震(M6.9), 1704年5月27日にもM6.9の能代地震が発生しており、今回の地震はそれらの震源域の境界に発生したものである。東北地方では中部の背稜山脈に沿って群発地震の発生しやすい所があるが、今回の震源域付近では群発地震の発生した記録はない。第3図は東北地方西部の1926年以後の地震活動を表わしたものであるが、この地域では過去数十年の間気象庁で震源決定された地震記録はなく、珍しい地震活動である。

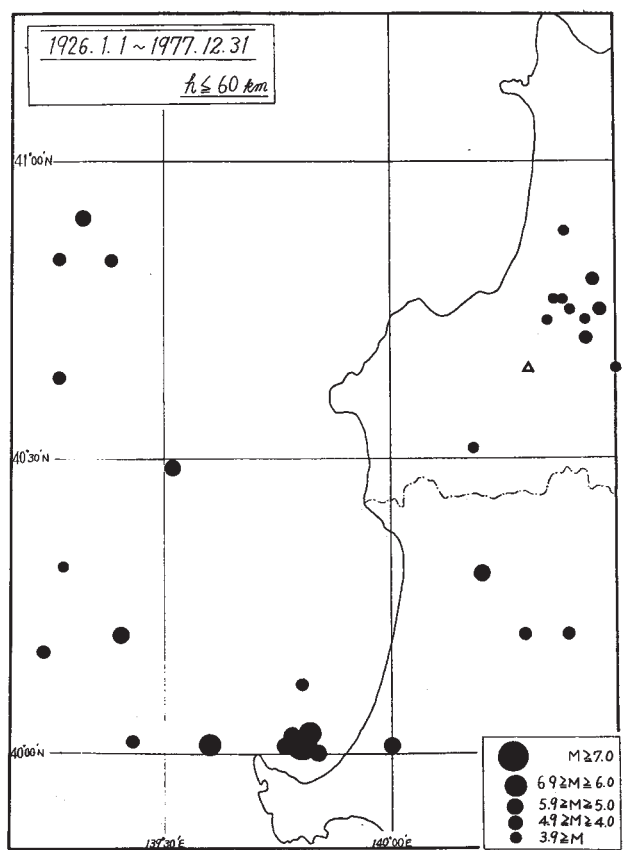


第1図 相馬で観測した日別地震回数
Fig. 1 Daily number of earthquakes recorded at Soma.



第2図 1978年9月-11月の群発地震の震央分布

Fig. 2 Epicentral distribution of earthquake swarm for September - November 1978.



第3図 東北地方西部の地震の震央分布 (1926 - 1977)

Fig. 3 Epicentral distribution of western part of Tohoku district (1926 - 1977).